

目次：

まえがき

本書を読み解く上でのキーワード

1. 奈良時代の災害発生状況と対処の文化

はじめに

1－1：古記録に現われる越後国、佐渡国

1－2：枯査と鼠

1－3：疾病と対処の文化

1－4：蝗害とその対処

1－5：霖雨と旱害

1－6：石井神社の謎

おわりに

註

参考文献表

2. 平安時代の災害発生状況と対処の文化

はじめに

2－1：窮民救済と都の地震

2－2：沿岸部地形の謎と残された災害由来の地名

2－3：越国（こしのくに）に於ける最初の地震

2－4：「壊民廬舎。圧死者衆」とは何か

2－5：地震の活動期と地震観

2－6：疫病、インフルエンザ、御霊信仰

2－7：地震と「震動」、兵庫

2－8：紫雲

2－9：連理

2－10：謎の地震と火山噴火

2－11：紅雪と黄砂

2－12：人魚

おわりに

註

参考文献表

3. 鎌倉時代の災害発生状況と対処の文化

はじめに

3－1：平安時代との関連と鎌倉時代の北陸、新潟県域

3－2：武家時代への移行と記録性

3－3：鎌倉期の気候

3－4：大水

3－5：地震

おわりに

註

参考文献表

4. 室町時代の災害発生状況と対処の文化

はじめに

4－1：彗星の出現と災害発生

4－2：寛正飢饉と「人種（ヒトダネ）失三分二」

4－3：火山噴火と「泥雨」

4－4：黄砂と「泥雨」

4－5：史料に残された「泥雨」

4－6：爆弾低気圧と「泥雨」

4－7：凶兆としての「泥雨」

おわりに

註

付表

参考文献表

5. 戦国時代の災害発生状況と対処の文化

はじめに

5－1：明応地震と北陸、新潟県域

5－2：文亀の越後地震と連歌師宗祇

5－3：永正の越後地震

5－4：飢饉と「厚生」

5－5：暖冬

5－6：天正13年地震

5－7：地震発生と怪異

5－8：越中国に於ける地震の被害

5－9：近世を見据えた災害対処の文化論

おわりに

註

参考文献表

あとがき

注記

初出一覧

著作者略歴

広告

奥付